

1. 単元名 米づくりを通して、お米のよさを伝えよう

2. 単元の目標

- ・ 稲の種もみまきや田植え体験、稲刈り体験、米づくりに関する調べ学習、社会科の学習を通して、生産者の努力や思いを知り、これからの米作りや菊池の農産業を守るために、自分たちにできることを考えたり、菊池のよさを見つけ、伝えたりすることができる。 【知識・技能】
- ・ 米作りの体験活動や調べ活動を通して、農業生産と消費行動や自然が密接に関わっていることに気づき、菊池のよさを伝える内容や方法を考えたり、菊池の農産業を守っていききたいという思いをもったりすることができる。 【思考力・判断力・表現力】
- ・ 菊池の米作りについてよさや課題を意欲的に調べたり、菊池の農産物のよさや自分たちにできることを伝えるための内容や方法を友達と協力して考えたり、菊池のよさを地域や他の地域に発信することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、米づくりを通して、地域の方と関わり、米作りについて調べ発信することで、米づくりをはじめ、農作物をつくられる地域の方の思いを知り、地域のよさに気づき愛着を深めることが期待できる。これらの学習を通して、菊池の米や農作物を広めていくために、生産者、消費者ともに環境のことを考えることが大切である。また、児童が自分たちにできることを考えることで、相手意識をもって行動する人権感覚を養うことができると考えられる。

(2) 児童観

本校は、10年前に4つの小学校が統合した学校である。校区が広く自然豊かな地域の中に学校がある。本学級の児童は、第3学年において校区の探検の学習で地域のよさに気づきはじめている。地域の農家の方をゲストティーチャーとして招いた学習では、農家の方の思いや地域で作られている農作物にも興味をもつことができている。第4学年では、校区内にある竜門ダムの見学や校区を流れる迫間川の水質調査を通して、水の利用のされ方、水の大切さについて理解、自然環境を大切さについて理解してきている。

そこで、米づくり体験に協力していただいている地域の方との関わりを通して地域の方の思いや願い、努力や課題を知ること自分達にできることを考えることができるようにする。また、5年生や中学年の取り組みをふり返ることで本校の5年生として周りの人々のために行動できることも考えることができるようにする。本単元を取り上げることは、地域のよさ、地域のよさを実感し、そのよさを伝え守っていこうとする地域への愛情を育てるとともに、上級生として、自分のことだけでなく、周りの人のために行動する人間性を高める上で意義深いと考える。

### (3) 指導観

本単元の学習にあたっては、社会科の「米づくりのさかんな地域」の学習と関連付けるようにする。また、地域の方との米づくり体験を通して、米づくりさらに学習の理解を高めるようにする。そして、自分たちが住む地域の農業や自然への関心をもち、守っていこうという思いをもつことができるようにする。

単元の導入では、まず、昨年度の5年生の活動の様子を見せる。このことを通して、米作りをするという見通しをもつことができるようにする。また、昨年度の5年生の掲載されていた新聞記事（ウクライナへの寄付）を見せる。「米作りをして、販売した売り上げの一部を寄付したという事実から自分たちはどうしていききたいか」という課題をもって活動をはじめないようにする。米づくりの体験活動では、種もみまき、田植え、草刈り、成長の観察、稲刈り、かけ干し（一部）、脱穀（一部）を行い、米作りの過程をできるだけ児童が体験できるようにする。地域の方との連絡を密にとり、体験活動のたびに説明、講話をしていただくとともに、児童のからの質問・感想を交えるようにする。

体験活動を通して、社会科の学習とのつながりに気づくとともに、農家の方の思いと地域の課題から菊池の米のよさを知ってもらうために、自分たちにできることを考えようという課題を立て取り組むことができるようにする。

### (4) ESDとの関連

#### ・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

有限性・・・日本の主食である米の生産も豊かな自然も限りがあり、守っていく必要があるということ。

相互性・・・農業生産は、自然環境との関わりがあること。

農作物の生産活動と消費活動はかかわり合っており、生産者だけでなく、消費者も食料生産・消費活動について考えていく必要があるということ。

連携性・・・地域の生産活動、まちづくりは、これからのことを見据え、地域全体で支えていくことが大切であるということ。

#### ・本学習を通して育てたいESDの資質・能力

コミュニケーションを行う力

地域の方と一緒に活動したり、インタビューをしたり他者と意見をしたり、自分の考えを伝えたり、発信したりする。

進んで参加する態度

自分たちにできることを考え、自ら活動したり、関わろうとしたりする。

未来像を予測して計画を立てる力

地域の自然や産業を残すために、米の生産と消費について考える。

自分を見つめ、周りのために自分にできることを考える。

・本学習で変容を促すE S Dの価値観

世代内の公正

生産者も消費者も地球環境も豊かになるような食生活や消費活動が大切であることがわかる。  
幸福感を重視する

地域に愛着をもち、それらを支える人々の思いに触れ、地域の人々への感謝の気持ちをもつ。

・達成が期待されるSDG s

1 1 持続可能な都市

1 5 陸域生態系

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 生産者、消費者、環境のつながりを理解している。	① 相手意識をもって考え、行動している。	① 体験活動に自ら進んで参加しようとしている。
② 情報収集や整理・分析の仕方を理解している。	② 自分の考えを伝えたり、聞いたりしている。	② 米づくりについて自ら調べたり、聞いたりしようとしている。
③ 生産者の思いや願い、地域の農産物のよさに気づいている。	③ 地域の農産物のよさを発信する内容や方法を考えている。	③ 自分たちにできることを考え、発信しようとしている。

5. 単元の指導計画

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
1	<p>○今までの5年生の活動の様子をみて、今後の活動の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田植えをしているよ。</li> <li>・お米をふくろづめしている。</li> <li>・私もしたことがあるよ。</li> </ul> <p>○新聞記事を見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長さんに寄付している。</li> <li>・収穫した米を販売して、その売り上げ金の一部を寄付したんだ。</li> </ul> <p>○現在の米作りの状況から考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんなに米の生産は減ってきているんだ。</li> <li>・熊本も減っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や動画を見せる。</li> <li>・活動のおおまかな見通しをもつことができるようにする。</li> <li>・新聞の記事の内容を読み、昨年度の5年生の意図を確認する。</li> <li>・今の段階での児童の意図を書かせる。</li> <li>・米の生産について統計から、課題意識を高めることができるようにする。</li> </ul>	イ② (思判表)
	米づくりを通して自分たちにできることをしよう。		

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
2	<p>○地域の方と一緒に米づくり体験をする。</p> <p>【種もみまき】 ・種をまくまでの準備もあるんだ。</p> <p>【田植え】手で植えるのは大変だ。</p> <p>【草刈り、観察】水の管理が大切なんだ。</p> <p>【稲かり】・今は機械で行っているんだ。</p> <p>【かけ干し】どれくらい干すのだろう。</p> <p>【脱穀】とても大変な作業があるんだな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方との連絡を密にとる。</li> <li>・一緒に活動しながら、助言していただくようにする。</li> <li>・毎回体験後に、感想・質問・振り返りをして、地域の方との交流の機会を設ける。</li> <li>・地域の方には、生産者の思い、願いを語っていただくよう依頼する。</li> </ul>	<p>ウ① (主体的)</p> <p>ア③ (知・技)</p>
3	<p>○米づくりについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田おこし、代かき等いろいろな工程があるんだ。</li> <li>・今は、機械化が進んでいる。</li> <li>・品種改良でいろいろな種類の米がある。</li> <li>・消費量が減っている。</li> <li>・農業協同組合の人も協力している。</li> <li>・地産地消も大切だ。</li> <li>・がい虫対策もしなければならない。</li> <li>・農業従事者が減っている。</li> </ul> <div data-bbox="261 1115 1206 1193" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>収穫した米をどうするか考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科の学習と関連づける。</li> <li>・調べる方法や内容を事前に出し合い、目的をもって調べ活動に取り組む。</li> <li>・米づくりの工夫、進化とともに、課題があることに気づかせる。</li> <li>・世界的な農業生産の状況にも視点を当てることで、地域の農業や食料生産と世界とのつながりにも意識をもつようにする。</li> </ul>	<p>ア① (知・技)</p> <p>ウ② (主体的)</p> <p>ア① (知・技)</p>
4	<p>○収穫した米をどうするか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちも食べたい。</li> <li>・まずは、菊池北小の人においしさを伝えよう。</li> <li>・保護者の人にも食べてもらおう。</li> <li>・販売しよう。</li> <li>・インターネットも活用したい。</li> <li>・米のよさを宣伝するといい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーを招き、地産地消の大切さ、農業の大切さについて学び、SDGSへの価値を高める。</li> <li>・給食センターとの連携、保護者への啓発</li> <li>・学校ホームページの活用</li> <li>・地域行事への参加、宣伝 (地域学校協働活動との連携)</li> </ul>	<p>ア② (知・技)</p> <p>イ③ (思判表)</p>
5	<p>○米の販売に向けて準備し、販売する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・袋詰め、パッケージ作り</li> <li>・チラシ作り、ポスター作り</li> <li>・学校ホームページのデータ作り</li> <li>・地域の行事（収穫祭）の販売準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売することが目的にならないよう、販売の意図、目的をもつことができるように助言する。</li> <li>・地域、他機関との連絡を密にとり、交流活動も取り入れていく。</li> </ul>	<p>ウ③ (主体的)</p>
6	<p>○これからできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・義援金を送りたい。</li> <li>・次の5年生のために、何か残したい。</li> <li>・買っていただいた方にお礼をしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度までの5年生にインタビューすることで、自分をみつめ、社会をみつめることができるようにする。</li> </ul>	<p>イ① (思判表)</p>

